

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	履修学年	1	学科・コース	普通科・理数科 共通																				
教科書	「現代の国語」(東京書籍)		副教材等	「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版)			担当者	丹、平木																					
1. 科目の目標			2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																							
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>			<p>各単元において、教材を読解し、自らをとりまく環境との関わりにおいて発展的な発想ができるように、生徒相互の話し合いの機会や、思索をまとめる時間をつくる。</p> <p>論理的・実用的文章を正確に理解するのに必要な知識や技術を身につけるようはたらきかけていく。</p> <p>「読むこと」「聞くこと」から内容を把握し、「書くこと」に際して獲得した情報をさらに広げていき、「話すこと」の機会によって自らの主張を適切に伝えることを学ばせる。</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的な態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>傾聴力</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>先見力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	傾聴力			○	思考力	○	○		協働力		○	○	先見力	○		○
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度																										
傾聴力			○																										
思考力	○	○																											
協働力		○	○																										
先見力	○		○																										

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
0	オリエンテーション 問うこと、語ること ・他己紹介をしよう(話・聞)	1	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。((1)イ)	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。(A話聞ア)	・積極的に問いかけ、語り合いをし、学習課題に沿って紹介の準備をしようとしている。
		2			
1	視点を変える ○評論の型(読) ・木を見る、森を見る ・技術が道徳を代行するとき ・水の東西	5	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア)	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。(C読ア)	・粘り強く論理の展開などについての的確に捉えようとし、今までの学習を生かして本文の理解を深めようとしている。
		4	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。((1)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。((2)イ)	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。(A話聞イ)	・進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしようとしている。
			【評価方法】中間考査、小テスト	【評価方法】成果物、中間考査	【評価方法】学びに取り組む姿勢
3	メディアを考える ○グラフや写真の読み取り方(読) ・広告の形而上学 ・時間と自由の関係について  ○新聞記事をもとに問を作り、意見をまとめる(書)  ○調べた情報を説明資料にまとめる(書)	5	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。((1)オ)	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。(C読イ)	・積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。
		4	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。((1)エ)	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。(B書ア)	・積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。
		5	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。((1)ウ)	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。(B書ウ)	・積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。
			【評価方法】期末考査、小テスト	【評価方法】成果物、期末考査	【評価方法】学びに取り組む姿勢

<p>4 共に生きる</p> <p>○文章を読み比べるために（読）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真の自立とは</li> <li>・共鳴し引き出される力</li> </ul> <p>○異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く（書）</p> <p>5 科学から見た人間（読）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工知能はなぜ椅子に座れないのか</li> <li>・学ぶことと人間の知恵</li> </ul> <p>○情報を整理しながら話し合う（話・聞）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工知能の現在と未来</li> </ul>	<p>2</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 ((1)カ)</li> <li>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ((1)エ)</li> <li>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができる。 ((3)ア)</li> <li>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 ((2)エ)</li> </ul> <p>【評価方法】 中間考査、小テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 (C読イ)</li> <li>・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 (B書エ)</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 (C読ア)</li> <li>・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。 (A話・聞オ)</li> </ul> <p>【評価方法】 グループワーク等の感想文、成果物、中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</li> <li>・積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。</li> <li>粘り強く筆者の主張について理解し、今までの学習を生かして、自分の考えを深めようとしている。</li> <li>・積極的に筆者の意図する「コンピューター」と「人間」の違いについて理解を深め、学習課題に沿って内容を整理し、自分の意見を持って話し合おうとしている。</li> </ul> <p>【評価方法】 グループワーク等の感想文</p>
<p>6 近代の先へ</p> <p>○引用の方法（書）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暇と退屈の倫理学</li> <li>・鳥の眼と虫の眼</li> </ul> <p>○論証してレポートを書く（書）</p> <p>○探求したことを発信する（話・聞）</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 ((2)オ)</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ((1)ウ)</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ((1)イ)</li> </ul> <p>【評価方法】 学年末考査、小テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方をおくとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 (B書ウ)</li> <li>・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 (B書イ)</li> <li>・話し言葉の特徴を踏まえて話し、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 (A話聞ウ)</li> <li>・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 (A話聞エ)</li> </ul> <p>【評価方法】 グループワーク等の感想文、成果物、学年末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に本文に用いられる引用の方法や効果を理解し、効果的に用いようとしている。</li> <li>・進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。</li> <li>・進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうするとともに、他のグループの発表をしっかりと聞いて理解を深めようとしている。</li> </ul> <p>【評価方法】 グループワーク等の感想文</p>
<p>合計</p>	<p>54</p>	<p>話す・聞く 15</p> <p>書く 24</p> <p>読む 15</p>		